

平成26年7月2日、(公社)日本水難救済会名誉総裁 憲仁親王妃久子殿下が、(公社)北海道海難防止・水難救済センターの「全道大会」に御臨席されました。

名誉総裁が地方水難救済会の訓練に御臨席されるのは今回が初めてです。

また、同大会の前日、7月1日には、釧路航空基地の御視察と釧路海上保安部巡視船えりもにて、「洋上救急慣熟訓練」の御視察等をなされました。

■第一管区海上保安本部 釧路航空基地の御視察

平成26年7月1日午後、釧路空港に御着された憲仁親王妃久子殿下は、第一管区海上保安本部釧路航空基地を御視察され、坂野公治第一管区海上保安本部長と廣木克匡釧路航空基地長から基地の業務や施設の状況を御聴取されるとともに、釧路航空基地職員との御懇談や職員への激励後、記念撮影をされました。



第一管区海上保安本部長及び釧路航空基地長等から業務説明を御聴取される妃殿下



日本水難救済会会長等及び釧路航空基地職員等との記念撮影



釧路航空基地職員を激励される妃殿下

■釧路海上保安部巡視船「えりも」にて「洋上救急慣熟訓練」の御視察等

憲仁親王妃久子殿下は、釧路航空基地御視察後、釧路市釧路港の入舟岸壁に係留中の釧路海上保安部巡視船えりもに御乗船され、飛行甲板では釧路航空基地のヘリコプターたんちょう(MH619)の乗員や巡視船えりも乗組員の協力を得て実施された(公社)日本水難救済会の洋上救急事業の協力医療機関の医師・看護師による洋上救急慣熟訓練を御視察されるとともに、巡視船えりも第一公室において同慣熟訓練に参加した市立釧路病院院長高平真氏、釧路労災病院院長野々村克也氏及び釧路赤十字病院院長二瓶和喜氏のほかこれらの病院の医師、看護師7名と洋上救急全般について御懇談をなされました。

御懇談では活発な発言が相次ぎ、妃殿下は現場での活動状況に深い関心を示され感謝のおことばをかけられました。

その後、巡視船えりも乗組員を激励され「今回のような総合的な洋上救急訓練を通じ、理解が深まるとともに、感激しました。今後とも日本の海の安全を守って下さい。」とおことばを賜り、関係者との記念撮影もされました。



釧路海上保安部巡視船えりもに御乗船される妃殿下



洋上救急慣熟訓練にて釧路赤十字病院の近江医師の説明を御聴取される妃殿下



洋上救急協力医療機関の医師・看護師と御懇談される妃殿下



洋上救急協力医療機関の医師・看護師との記念撮影



巡視船えりも職員を激励される妃殿下



■平成26年度公益社団法人北海道海難防止・水難救済センター主催「全道大会」に御臨席

7月2日には、(公社)北海道海難防止・水難救済センター「全道大会」に御臨席のため妃殿下は厚岸町若竹岸壁に御移動され、午前9時から開催された同全道大会開会式において、おことばを述べられた後、救難所員のゴムボート操法、救命索発射器操法、心肺蘇生法の訓練を御視察されましたが、士気旺盛な救難所員の訓練ぶりに感動された御様子でした。

また、ボランティア救助員を支える厚岸漁協のご婦人方と御懇談されたほか、総合訓練として火災船救助訓練では火災船から海中に転落した乗組員を救助船が救助し救急車に引き渡す訓練が行われた後、締めくくりとして釧路海上保安部巡視船えりも潜水士と釧路航空基地MH619(たんちょう)が連携して漂流者を吊上げ救助する本番さながらの展示訓練が披露され、滞りなく全道大会を終えました。



(公社)北海道海難防止・水難救済センター山田邦雄 大会長のご挨拶



大会にておことばを述べられる妃殿下



来賓等による視閲を受ける救難所員



毅然と整列した参加救難所の救難所員



ゴムボート操法訓練



救命索発射器操法訓練



(公社)北海道海難防止・水難救済センター 笹野専務理事等から御説明を御聴取される妃殿下



心肺蘇生法訓練



厚岸救難所救助員を支える厚岸町漁業協同組合ご婦人との御懇談をされる妃殿下



火災船救助訓練



釧路航空基地ヘリによる吊上げ展示訓練



大会終了後の御見送り